

資格検定NEWS



「狭いキャリア」と「広いキャリア」

キャリアで扱う仕事には広い意味と狭い意味の両方があるといえます。会社の職務などの仕事は「職業」(Job)であり、これは狭い意味での仕事となります。

一方、仕事にはもっと広い意味での「仕事」(Work)という概念もあります。それはJob以外のあらゆる活動を含むもので、例えば、社会活動、文化活動、ボランティア活動などがあります。

そこで、キャリアの範囲を「狭いキャリア」と「広いキャリア」に分けて考えることができます。

狭いキャリアとは、個人の仕事上で蓄積する職務体験や能力開発などです。一方、広いキャリアはもっと広い概念を指しているといえます。すなわち、個人が生涯にわたって仕事や社会生活とどのように向き合い、どのように関わっていくのかということです。それは人生そのものであり、また仕事での体験やその他の生活上のすべてを統合したものだといえます。キャリアを広い概念でとらえると、企業社会の中で個々人がどのような仕事についていくかということは、実はとても重要な意味を持っていることがわかります。

キャリアとは「個人の仕事に関わる、生涯にわたっての成長と適応を目的とした自己開発の連鎖」といえるでしょう。

(中央職業能力開発協会発行 「職場で活かすキャリア・サポート」 から一部抜粋)